

History

キラリを再発見

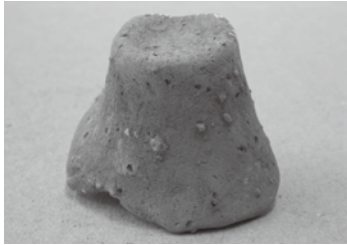
賀茂神社との関連が 注目される遺跡

賀茂神社東遺跡は比木地区の賀茂神社東側にあり、小さな丘陵からその全面の水田にかけて立地しています。

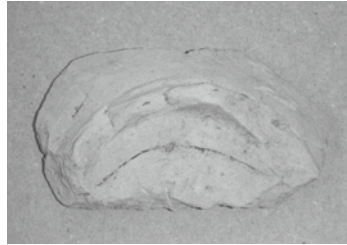
平成9年に水道工事が行われた際、若干の遺物が出土し、埋蔵文化財包蔵地として登録されました。その後、平成12年と平成14年に土地所有者の岡村敬時氏が水田の耕作をした際にも11世紀の灰釉陶器のわん、12～13世紀の山茶わんなどの遺物が採集されています。

平成25年には用水路改修工事に伴う試掘調査を実施しました。調査箇所は以前に遺物が採集されている遺跡南側の用水路に面した岡村敬時氏所有の水田で、2～4号機の試掘坑を3箇所設定して調査しました。その結果、東側に設定した試掘坑3から箴川の旧河道と考えられる礫層が検出され、古墳時代から平安時代にかけての土師器と平安時代埋蔵文化財包蔵地から鎌倉時代の灰釉陶器と山茶わんが出土しました。

照会 社会教育課 ☎0548⑧1129



▲古墳時代の高坏の破片



▲鎌倉時代の山茶わんの底部破片



▲試掘坑3の発掘作業風景



埋蔵文化財包蔵地 賀茂神社東遺跡

▼防波壁



▼可搬型設備



原子力規制委員会は2月13日、新規制基準適合性確認審査(※)に伴う浜岡原子力発電所4号機の現地調査を行いました。同委員会による現地調査は今回が初めてです。同委員会からは、青木安全規制管理官ほか20人が参加し、防波壁や可搬型設備、フィラメント設備、火災対策などを調査しました。中部電力は、今後も同委員

会による審査に真摯に対応し、速やかに新規制基準に適合しているとの確認をもらえるよう努力していくとのことです。※浜岡原子力発電所4号機は、平成26年2月に新規制基準適合性確認審査のための申請を行い、現在原子力規制委員会による審査を受けているところです。(審査会合21回、一面談104回…2月13日時点)

Atomic

暮らしと原子力

原子力規制委員会による
現地調査について